

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	Academic Written English I		
英文授業科目名	Academic Written English I		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 知能機械工学科		
担当教官名	菅原 恵子		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
授業中に知らせます	なし

【主題および達成目標】
この授業は、Content-based (内容ベース) の読み応えはあるが平易な英文を読んで、英語の読解力を養成し、内容に関して各自の考えを構築し、それを英文で表現する力をつけるということを目的とする。すなわち、「読んで」理解した上で、「聞く」トレーニングによって理解を深め、さらに「書く」「話す」ことで自らの考えを発信できるようにすることを目的とする。その過程でパラグラフ・エッセイを書く方法を学ぶ。

【前もって履修しておくべき科目】
無し

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
無し

【教科書等】
Life in Our Global Village Melvin Andrade, Hisami Andrade 著 三修社 出版

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

自然で平易な文体で書かれた、グローバル規模の様々な事柄について、読み、聞くことにより理解を深め、内容に関しての自らの考えを構築し、それを英語で話し、書くといった自己の考えを発信することに進む。まず、Warm-Upでpairでその課のテーマに関して話し合い、語彙の理解を深めた後、本文の英語を読む。リスニングで更に内容の理解を深め、内容に対する各自の考えをpairで交換し、最後に英文で表現する。その過程で、英語でまとめたものを書く書き方、すなわちパラグラフ・エッセイの書き方を学ぶ。日本語とは違う英文パラグラフの構造を理解し、次に、各自の考えを実際にパラグラフ形式で書いてみる。。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

予習を必ずして来て下さい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中に出される課題を英文で書いたもの、各課の要約：40%
学期の終わりに行われる期末試験の結果：40%
授業への参加度、出席度：20%

【オフィスアワー：授業相談】

授業後、或いは e-mailで相談してください。

【学生へのメッセージ】

なるべく積極的に授業に参加してください。積極的な参加が高い評価を得られます。また、できるだけ英語を使ってみましょう。授業は、説明等は日本語で行いますが、可能な限りなるべく英語を使います。

【その他】

授業中の質問も高く評価されます。